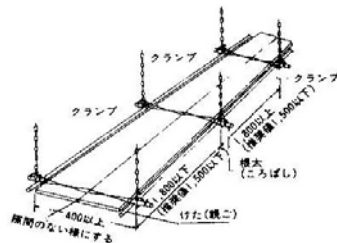


足場チェーン(吊りチェーン)

| 品名 | 足場チェーン(吊りチェーン) | |
|------|----------------|--------|
| 品番 | 寸法(mm) | 重量(kg) |
| AC40 | 4,000 | 2.8 |
| AC30 | 3,000 | 2.1 |
| AC20 | 2,000 | 1.4 |

標準吊り足場



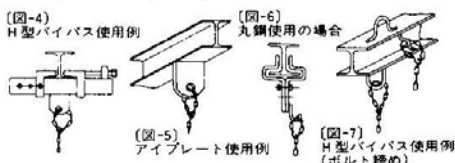
【図-1】
単管(STK51、40A 2.4t)と鋼製足場板に依るチェーン吊り足場略図
(注) けたと根太の固定は単管クランプ(JIS A8951)緊結金具、溶接とする。

(1) 梁、根太等にチェーンを大廻しにしたチェーン吊り足場



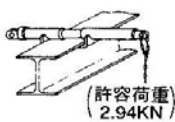
【図-2】1本掛(吊り荷重2.35KN) 【図-3】2本掛(吊り荷重4.21KN)

(2) 梁り等に吊り金具を設けたチェーン吊り足場

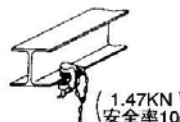


(3) 梁り等にメーカー製吊り金具を設けたチェーン吊り足場

(a) 社製SC型クランプ (b) 社製キャッチベース



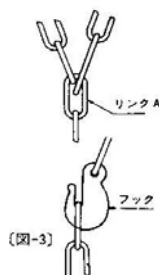
【図-8】社製SC型クランプ使用例



【図-9】社製キャッチベース使用

(4) フックのかけ方

チェーン(リンク)にフックをかける場合かけ方が悪いと(フックのはまり方が不十分)フック及びチェーンの安全率が低下しますので図3のようにフックの先が充分廻り込むようにかけて下さい。



| 品名 | 足場チェーン(吊りチェーン)ロック付き | |
|----------|---------------------|--------|
| 品番 | 寸法(mm) | 重量(kg) |
| AC40 STD | 4,000 | 2.9 |

国土交通省 新技術登録システム
NETIS登録番号 KT-100077-VE(平成29年 時点)

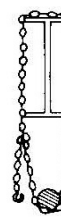
許容荷重(安全率5倍)

1本吊りの場合

ループ吊りの場合

240kg

430kg



●つりチェーンの許容荷重について

労働省規格による破断強度は15.7KN以上(社) 仮設工業会の認定検査では抜取試験で5本の平均値が17.6KN以上、最小値が15.7KN以上を合格基準としている。)とされているが製造時に僅かでもリンクの溶接部の不良箇所があった場合これが製品の中にまざるおそれがあるので、仮設工業会では認定合格メーカーに対し、全数につき7.84KNの自主検査で耐力試験の励行を義務付けている。このようなことから、つりチェーン1本あたりの許容荷重については、認定検査の平均値(17.6KN)の3分の2を保証破断荷重とみなし、この値をもとに安全率5を考慮して定めるのがよい。すなわち1本あたり $\frac{17.6 \times 2/3}{5} = 2.35$ (KN) 以下とする。ただし、ループ吊りのときは4.21KN以下としてよい。

●つぎの使用方法にご注意下さい。

(イ) 足場吊チェーンは図1のように輪形に使用するのが最も安全です。そのためには、なるべく余裕のある長いチェーン(4m以上)をご使用下さい。
(ロ) チェーンが短かく、やむを得ず図2のように使用される場合は、リンクAに横引きの荷重が働きますので安全率が低下します。この場合は吊角度Kが小さい程安全です。この方法でご使用の場合は必ず最大角度を45°以下でご使用下さい。

